

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成17年11月10日(2005.11.10)

【公開番号】特開2005-69847(P2005-69847A)

【公開日】平成17年3月17日(2005.3.17)

【年通号数】公開・登録公報2005-011

【出願番号】特願2003-299476(P2003-299476)

【国際特許分類第7版】

G 0 1 N 21/01

A 6 1 B 5/145

G 0 1 N 21/17

【F I】

G 0 1 N 21/01 A

G 0 1 N 21/17 6 1 0

A 6 1 B 5/14 3 1 0

【手続補正書】

【提出日】平成17年9月21日(2005.9.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数の光照射器と、複数の光検出器と、これら光照射器、光検出器に光学的に結合された光ファイバを有し、これら光ファイバは、これら光ファイバの先端が被検査体の体表に配列されて接触するように保持するためのプローブに接続され、該プローブを被検査体に装着して光によって生体内の代謝物質濃度の計測を行い、前記被検査体の形状を模擬し、前記プローブを仮に装着するための固定具を有することを特徴とする生体光計測装置。

【請求項2】

前記固定具の空間的な位置または形状が可変であることを特徴とする請求項1に記載の生体光計測装置。

【請求項3】

前記固定具は、樹脂材料から構成されることを特徴とする請求項1に記載の生体光計測装置用固定具。

【請求項4】

前記固定具は空気圧により、もしくは機械的に外形形状をえるものであることを特徴とする請求項1に記載の生体光計測装置用固定具。

【請求項5】

前記光ファイバは、前記生体光計測装置の本体側の第1の光ファイバ束と、前記プローブ側の第2の光ファイバ束とがコネクタにより接続されて構成されていることを特徴とする請求項1記載の生体光計測装置。

【請求項6】

前記コネクタは磁力により接続を保持して前記第1、第2の光ファイバ束の間の光結合を保つ磁石を有することを特徴とする請求項5記載の生体光計測装置。

【請求項7】

前記コネクタは、接続面の形状を非対称とする部材を具備することを特徴とする請求項5または6に記載の生体光計測装置。

【請求項 8】

前記被検査体を着座させる固定部材を有し、
前記固定部材に脱着可能に装着され、前記光ファイバを保持するホルダを備えることを特
徴とする請求項 1 記載の生体光計測装置。

【請求項 9】

前記ホルダは前記光ファイバの方向と、その固定位置から先の長さを調節可能に固定す
ることを特徴とする請求項 8 記載の生体光計測装置。